

うらばなし1

けっせい

「自分たちの可能性や、 できることを増やしていこう」

「裏方の作業も知って、
役者としての視野も広がって
いくかなと」

「1週間ぐらいでプロット
上げろって何だよって
(笑)」



2019年2月。新宿に降り、待ち合わせ場所に向かうCDとシュニン。「あっちのルノールじゃないんだ?」「グーグルマップだと、そっちのルノールらしいです」
待ち合わせ相手は、第2回愛川レッドカーペット ムービー部門最優秀賞「にちじょう」の映像制作チームOR→Pのメンバー。(写真右から、監督の土井克馬さん、石山和史さん、松下美優さん、武田良輔さん) 彼らから、どんな裏話が飛び出すのか!?

シュニン (以下シュ) この度は、受賞おめでとうございます。

OR→Pメンバー全員 (以下全員) ありがとうございます。

シュ 本日は、「にちじょう」のこと、さらにはメンバーのことまで、掘り下げてお伺いします。どうぞよろしくお願いいたします。

全員 よろしくお祈りします。

シュ 結成のきっかけを教えてください。

土井克馬 (以下土井) 最初に松下が石山さんに声をかけて。

石山和史 (以下石山) 2015年のことです。

松下美優 (以下松下) なんかやりたいって。

石山 会ってみたら何も決めていない状況で(笑) 僕らは役者なので、カメラを回すにしても自分たちだけでは何もできない。最初は、お世話になった監督さんとかを巻き込んで、一緒にやろうという考えでした。巻き込むにしても、全部丸投げだと動いてくれないだろうし、1回考えようって。

土井 僕は松下に、石山さんと飲んでるからって新宿に呼ばれたんです。話を聞いて、面白そうだなって乗っかりました。その時は自分も役者をやっている、裏方の作業も知っていれば、役者としての視野も広がっていくかなと。

シュ チームの名前の由来は?

土井 OUR RANGE PRODUCE (アワー・レンジ・プロデュース) という造語を略してOR→P。自分たちの可能性やできることを増やしていこうというコンセプトで活動しようということになって。その場で単語を調べて作りました。

石山 初めは、土井が別の作品で台本を書いてくれたんです。どうやっていくかが見えなかった。形にならずに突撃していくより、練習したほうがいいんじゃないかって、短いものを1回作ってみようとして作り始めたのが予告編動画です。

シュ 「パーボンに愛と悲しみを」ですね。

石山 撮影で頼りにしたのが、同じ事務所の後輩、玉寄大樹。彼は、以前からホラー作品を監督してYouTubeに公開していたりして、ノウハウがあったんです。

土井 僕以外のメンバーと玉寄さんは、全員同じ事務所に所属しているんです。撮影の時、その事務所を使わせていただいたんですけど、そこにたまたま武田がいて、手伝ってくれることになったんです。

シュ 愛川レッドカーペットの企画を持ち込んだのは玉寄さんだそうですね。

土井 「登龍門」のリンクが飛んできて、これやりませんでした。

石山 YouTubeに公開する形が、OR→Pのやっていることに近かった。人目に触れる形で応募するって、すごく面白い仕組みだなって思いました。

土井 メンバーではない玉寄さんの方から、企画を上げるっていう(笑) 玉寄さんは、元々OR→Pのメンバーだったんです。別にケンカ別れとかではなく…

石山 いやケンカ別れでしょ?

土井 やめなさい(笑) 今でもレギュラーですよ。

石山 ケンカ別れなら、何でめっちゃ出てるの?(笑)

土井 玉寄さんは自分のチャンネルも持ってるし、やりたいことも色々あってOR→Pを抜けたんですけど、撮影にはずっと参加しています。

石山 会議や細々したことについては、個人の活動を優先したいと意思表示があったんです。でも、一緒にやるからにはスタッフだけを押し付けたくなくて、役者としても出てもらって、いつも一緒に撮ってるみたいな。メンバーとレギュラーの違いって何だろうって(笑)

土井 現在の活動は、メンバー4人+レギュラー玉寄さんって感じになっています。

シュ 会議は定期的あるんですか?

土井 それぞれ仕事のスケジュールがバラバラなので、定期的というワケではないです。僕も劇団の主宰なので、集まっての会議は中々できないですね。LINEで企画やスロットを上げて、撮ろうかって流れです。2018年2月8日から毎週木曜18時にYouTubeにアッスするようにしているんですけど、それが途切れそうになると、石山さんから危険信号が出て、LINEで会議する感じですね。

CD 奇跡的ですね。今日は4人揃って。

土井 今日はガッツリ合わせました。

石山 僕は、優秀作品発表会に行けなかったのが、直前にスケジュールが入ったりしないかと不安でした。武田も連ドラで捕まると長いよね。

土井 OR→Pの活動は、事務所の仕事が入ったらそれを優先させています。

だから優秀作品発表会に、石山さんはいなかったんです。

石山 8月の頭に玉寄と土井と私と3人で話をして、別の企画で8月10日に撮影した時、初めて参加するぞという話になって。そこから怒涛でした。

土井 締め切りまでかなりカツカツで。ネタもない、まささな状態で始まったんです。

松下 1週間ぐらいでプロットを上げろって言われて。1週間ってなんだよって(笑)

武田 最初は1本の予定でしたよね。

土井 OR→Pで1本。玉寄さんで1本みたいな感じでした。

CD 愛川町を意識せずにスロットを上げて、はまりそうな場所を探したんですか?

土井 公式サイトで指定ロケ地を見た上で、スロットを考えました。

石山 ロケ地の紹介があると、絵がある程度浮かぶんで、筋立てを考えやすかったです。

土井 メンバーそれぞれが1本の企画を上げて、結果、全員分撮ろうという話になりました。玉寄さんの作品も入れて、5本分を撮影に行こうって。